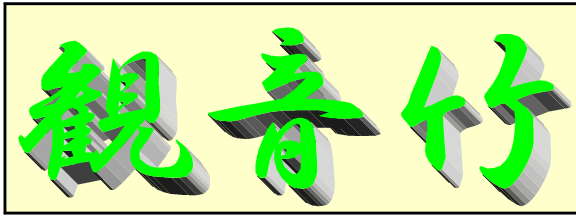


【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】



1月の目標  
生活：礼儀正しくし、良いことを進んでしよう  
保健：寒さをじょうずにのりきろう  
安全：きまりを守って登下校しよう

令和4年度 1月号  
R5. 1. 1発行

<http://eshachimansynapse-blog.jp/hachimanes/>

## 「聴く」ことができる子へ

新年明けましておめでとうございます。

今年の1月号では、「魅力ある学校へ」という題でした。それ以降、全校朝会など子どもたちに話す機会がある度に、「？」のカードを提示して考えることや、「魅力」のカードを提示して自分自身の魅力を上げていくことを話してきました。

「？」のカードについては、2年前から子どもたちに話してきました。『考える』ということ、嫌がらずに楽しむ子どもたちになってほしいという願いをもって話し続けています。子どもたち自身の行動を決定していくのは、子どもたち一人一人の判断です。勉強だけでなく、それ以上に普段の生活の中にも『考える』はたくさん必要です。このようなことが、子どもたちに浸透してきており、子どもたちは、私が演台に立つと「？」を出すぞ…といつも思っているはずで

さらに、この数ヶ月、「？」や「魅力」に続いて、10月の全校朝会で「聴く」を加えて話をしています（12月号に掲載）。自分だけでなく他者に想いを巡らせ、しっかり聴くことを八幡小学校の子どもたちに身につけてほしいと考えています。このような取組を続ける中で、先日の2学期終業式で感動しました。3年生の深堀彩華さんと5年生の渡邊美逢さんの代表児童の発表についてです。2人の児童の発表の中に「聴く」と「想う」がたくさん盛り込まれていたのです。そればかりでなく、その後校長先生の話という設定があるのですが、発表を聴いていた子どもたちに、代表児童の想いや発表内容について、どんなことだったか質問すると、しっかりと反応して発言することができました。「聴く」と「想う」が子どもたちの中に浸透してきていることを実感しました。保護者や地域の皆様のご支援・ご協力があったからこそその成長です。ありがとうございます。

本年も八幡小学校をよろしく願いいたします。